

平成 20 年 9 月 12 日

各 位

本 社 所 在 地 大阪府中央区農人橋一丁目 1 番 22 号
大江ビル 10 階
会 社 名 ミネルヴァ・ホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役会長兼社長 中島 成浩
(コード番号 : 3 0 9 0 大証ヘラクレス)
問 合 せ 先 取締役 高橋 要
電 話 番 号 06-6910-0031(代表)
U R L <http://www.minerva-hd.com/>

平成 21 年 1 月期(通期)の業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等をふまえ、平成 20 年 6 月 13 日付「平成 21 年 1 月期 第 1 四半期財務・業績の概況」において公表いたしました平成 21 年 1 月期(自 平成 20 年 2 月 1 日 至 平成 21 年 1 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

平成 21 年 1 月期通期(平成 20 年 2 月 1 日～平成 21 年 1 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	5,043	163	153	91	9,037 円 68 銭
今回修正予想(B)	5,631	163	165	117	10,751 円 85 銭
増減額(B-A)	588	0	12	26	—
増減率(%)	11.7	—	7.8	28.6	—

(注) 1 株当たり当期純利益は、平成 20 年 7 月 31 日現在の期中平均株式数 10,9310.1 株に基づいて算出しております。なお、当期より連結財務諸表を作成しているため、前期実績は表示していません。

(修正理由)

当社グループの主力事業である E コマース (インターネット通信販売) の売上高は、B to C E C 市場規模が拡大傾向にあることから、上期に引き続き下期においても好調な売上を維持するものと認識しております。また、加えて下期においては、E C サイト「オタクの電腦街」のオープンにより、新たに大人向けホビー商品の売上が見込まれることや、計画中の新規案件の売上が見込まれることなどから、前回予想に比して 5 億 88 百万円増加し 56 億 31 百万円の売上となる見通しです。

営業利益につきましては、上期では計画を上回る実績となりましたが、連結子会社ナチュラム・イーコマース株式会社において、不正アクセスが確認され、お客様の個人情報流出した可能性がある旨の公表により、お客様に対するお詫びとして 8 月 6 日から 10 月 31 日までの約 3 ヶ月間に亘る 5% の値引き販売やセキュリティの強化ならびに対策などの費用を見込んでおります。

また、ECソリューション事業におけるEコマース支援ビジネスは、市場規模が拡大傾向にあることから、早期市場の占有度を高めるべく施策として、営業拠点の拡大、営業員の増員ならびにオンラインショップ統合管理システム「Genesis-EC」の機能強化などに要する費用を下期で見込んでおります。

以上のことから、売上は計画以上となる見込みですが、一方では予定外の費用も発生する可能性があることを見込み、前回予想と同額の1億63百万円の営業利益となる見通しです。

経常利益につきましては、予定していた営業外費用が12百万円減少し、1億65百万円の経常利益となる見通しです。

当期純利益につきましては、上期において不正アクセスに関する情報セキュリティ対策費用として25百万円の特別損失が発生しましたが、同上期で転換社債の売却並びに満期償還により28百万円の特別利益が生じ、差し引き3百万円の利益超過となっております。加えて法人税および税効果会計適用による法人税等調整額の再計算により、前回予想に比して26百万円増加し1億17百万円となる見通しです。

2. 個別業績予想数値の修正

平成21年1月期通期（平成20年2月1日～平成21年1月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	4,735	134	136	80	7,920円87銭
今回修正予想(B)	2,700	94	103	80	7,369円98銭
増減額(B-A)	△ 2,035	△ 40	△ 33	0	—
増減率(%)	△ 43.0	△ 29.9	△ 24.3	—	—
(ご参考) 前期実績(平成20年1月期)	4,266	161	137	118	11,711円99銭

(注) 1株当たり当期純利益は、平成20年7月31日現在の期中平均株式数10,931.1株に基づいて算出しております。

※個別業績予想に関するご注意

当社は、Eコマース（インターネット通信販売）事業の会社分割により、平成20年8月1日に持株会社体制へ移行しております。これに伴い、前回予想に含まれていたEコマース（インターネット通信販売）事業部門の下期数値が子会社（ナチュラルム・イーコマース株式会社）へ移行しているため、会社分割前の前回予想と比較して大きく変動しております。

(修正の理由)

個別業績予想の修正につきましては、Eコマース（インターネット通信販売）事業部門の会社分割により、同部門の下期業績予想数値が子会社（ナチュラルム・イーコマース株式会社）に移行しております。

また、当社は、平成20年8月1日の会社分割により持株会社体制となり、グループの統括および管理が主たる事業となるため、グループ各社に対する経営指導料を見込んでおります。

以上の結果、売上高27億円、営業利益94百万円、経常利益1億3百万円、当期純利益80百万円となる見通しです。

(注) 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上